

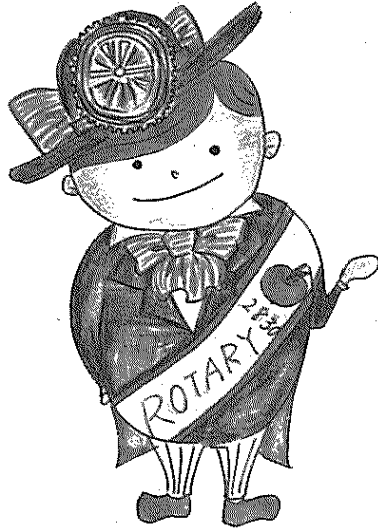
国際ロータリー第2830地区 23~24年度公式キャラ

光星高生のデザイン採用

来年7月、本格デビュー

むつ

青森県をエリアとする国際ロータリー第2830地区は2日、2023~24年度に使用する公式キャラクターに、八戸学院光星高インターアクトクラブのデザインを



八戸学院光星高インターアクトクラブのデザイン画

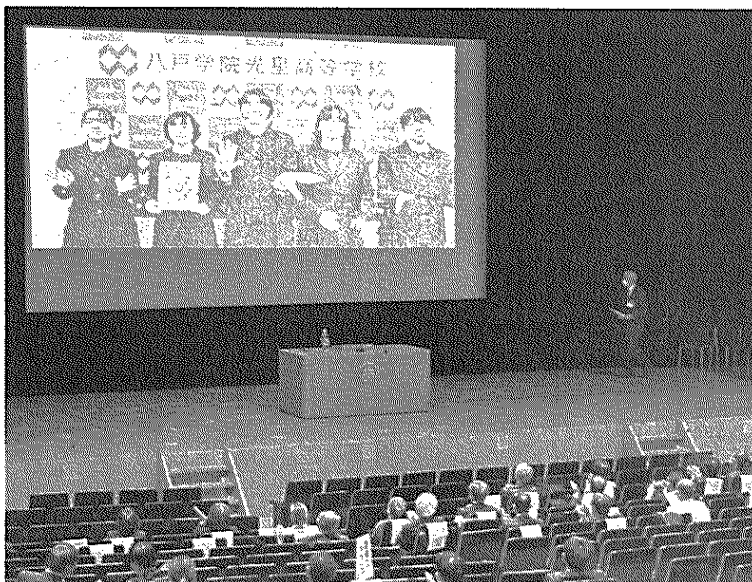
クラブのデザインを選んだと発表した。キャラクターは年度が始まる23年7月に愛称と着ぐるみがお披露目され、本格デビューする予定。

むつ市の下北文化会館で開かれた、同地区の22

23年度地区大会で発表された。キャラクターデザインは7~8月に公募され、県内6高校のインターアクトクラブから69作品の応募があった。

最優秀賞に選ばれた八戸学院光星高インターアクトクラブのデザインは、黒のタキシードと共に、ロータリーカラーの青を使用しコントラストを強調。あえてあどけなくした表情や、帽子にあしらった記章で、ロータリアンの品格や優しさをイメージした。

会場にビデオメッセージを寄せた、同クラブ副会長の田名部真心さんは



「大きな賞を頂き、とてもうれしい。多くの方々から愛を届ける存在になつてほしい」と喜びを語った。優秀賞には県立八戸高 JRCインターアクトクラブ愛好会、優良賞には八戸工大 高1年の東野愛さんの作品が選ばれた。

優秀賞には県立八戸高

(松橋広幸)